

令和6年度第3回学校運営協議会兼魅力化コンソーシアム役員会 議事録

1. 期 日：令和7年2月25日（火）
2. 時 間：15：30～16：30
3. 場 所：松江農林高校会議室
4. 出席者：

氏 名	所 属	備 考
能海 広明	松農会 会長	
梶谷 朱美	島根県立大学短期大学 学部部长	
曳野 貴志	松江農林高校 PTA 会長	
津森 章子	島根県立農林大学校 校長	
大岩 睦子	地域代表	
矢野 俊人	松江農林高校魅力化コンソーシアムマネージャー	
原 隆志	松江農林高校 校長	
石倉 裕子	松江農林高校 事務長	
中村 丈志	松江農林高校 総務主任	
藤原 智子	松江農林高校 教務主任	
奈良井瑞恵	松江農林高校 生徒指導主事	
立石 篤	松江農林高校 農場長	
齋藤 寿和	松江農林高校 魅力化推進室長	
小西久美子	島根県教育庁教育指導課 地域教育推進室 調整監	
高橋 洋平	島根県教育庁教育指導課 地域教育推進室 魅力化推進員	

5. 協議題

- (1) 令和6年度の教育活動の状況について 質疑なし 承認
  - ・近況報告
  - ・生徒、保護者による学校評価アンケート結果
  - ・重点目標と事項評価
- (2) 令和7年度の学校経営方針 質疑なし 承認
- (3) 令和6年度魅力化事業報告 質疑なし 承認
- (4) 令和6年度の決算（中間）報告 質疑なし

(5) 意見交換

<質問>

- ・今年度は、クラウドファンディングにより外部資金を得て活動をたが、今後の方向性はどのように考えているか。

(回答) クラウドファンディングは、定期的な実施ではなく今後の活動計画等を考慮しながら検討する。生徒がクラウドファンディングの準備・運営に携わることで企業との関係が広がるなど貴重な学びの機会となったことは大きな成果である。

<意見>

- ・探究活動で実践した内容を大学等へ進学をしても継続して取り組みたいと考えている生徒がいることはうれしいことである。
- ・魅力化の各取り組みの中で、商品化等として成果が残ることはよいことである。
- ・2月に開催をした「松江農林高校発表会」を見て、一人ひとりが考えながら実践をしていると感じた。また、インターンシップ報告でも単に活動の報告だけでなく課題意識をもって取り組んでいたことが印象的であった。ぜひ将来につなげてもらいたい。
- ・魅力コンソーシアムを設立して4年目となる。その成果が見えてきているので、継続した取り組みが大切である。
- ・令和7年度高校入学者選抜の出願状況もよいので、今後も継続した取り組みを期待している。